



笠間市のセカンドハウスMさん

18



一軒家のリフォーム

Kasama City

Mさんは長野県長野市出身、東京都在住の50代。職業はIT関連。趣味は菜園、音楽・映画鑑賞など。現在は中小企業診断士の妻・保護猫（ノルウェイジャンフォレストキャット）と東京都内のマンションで暮らし、週末は将来移住を検討している「茨城県笠間市のセカンドハウス」で過ごす。庭の菜園で野菜を育てるほか、二人で晩酌を楽しむ。今後は趣味の音楽・映画鑑賞用のオーディオルームをDIYする予定。猫のためにキャットタワーも製作しようと、妻と話し合っている。



Q. 空き家を購入したいと思ったきっかけは？

東京都の江東区で現在マンション暮らしをしています。週末は区の貸し農園で菜園を楽しんでいましたが、6m×6mぐらいのとても小さなスペースで、「もう少しやってみたいな」という気持ちがありました。東京の人ゴミが苦手だったこともあり、静かな環境で菜園やDIYなど、いろいろなことができればいいなと思ったのがきっかけです。将来的には移住をすることも考えていました。

Q.どのように空き家を探しましたか？

Webで物件を探しました。条件は東京か100km圏内で、菜園をやりたいこともあり、土地が広めのところでした。また、妻は車の運転ができないので、電車で行くことができ、駅から歩ける距離であること、飼い猫を連れていくのに大変じゃないところ、平屋であることなども条件でした。千葉県の東京湾側・神奈川県・埼玉県だと予算がオーバーしてしまうので、千葉県の太平洋側や茨城方面を探し、こちらの物件にたどり着きました。探し始めてから決めるまでに、約2年かかりました。

Q.「空き家バンク」をご存知でしたか？

空き家バンクのことは知りませんでした。物件を内見した時にはじめて、空き家バンクの対象だということを知りました。最初から笠間市で探すということを決めている方であれば、市役所を訪ね、移住窓口等で「空き家バンク」の存在を知ることができたかもしれませんが、私たちは物件の条件から探していたので、入り口が違ったのかもしれませんがね。その後、空き家バンクの対象物件だと、「リフォームの助成金」が出ると聞いて、市役所を訪ねました。



Q.リフォームにあたり、施工者をどのように見つけましたか？

売主の方に家を建てた工務店を教えてくださいましたが、年配の方のようで今はお仕事をされていないとのこと、近くの工務店さんをwebで探しました。何社か見積もりを取りましたが、金額が倍ぐらい違うなどばらつきがありました。

検討した結果、一番安く見積もっていただいた工務店さんにずっとお願いをしています。

Q.全てリフォームされたとのことですが、どのように進めていったのですか？

2016年に住宅を購入し、昨年春ぐらいいままで2回に分け、6年ぐらいかけてリフォームしています。まずはじめに浴室、トイレ、洗面所などの水回りを直しました。それから週末にこちらに来れるようになりましたね。住宅を購入した当初、DIYをしようと思っていたのですが、素人の手には負えないです(笑)基本的には大工さんをお願いしています。



Q.具体的にはどのようなところを直したのでしょうか。

昭和46年に建てられた平屋の5DKだったので、小さな部屋がたくさんあり、少し暗い造りでした。リビングダイニングをできるだけ広く・明るくするために、大工さんに「柱を抜きたい」と相談しました。構造上問題がないか確認してもらった結果、柱を2本抜き、補強のために梁(はり)をいれ、増築もしています。暗かった部屋にも光が差し込むようにし、猫と日向ぼっこができるようになりました。バラバラだった水回りも1カ所にまとめ、スッキリさせています。屋根には太陽光パネルも取り付けました。